

【日本の車文化】

皆さんは自動車に普段乗ってますか？私は免許取得の19歳からほぼ毎日乗っています。大学生時分は通学のため年間20,000km程度、今は仕事のため年間40,000km程度、15年ぐらい前は70,000km走っていました。

大学の選定理由も都心方面でなく、横浜の自宅から大好きな車で通学できる場所(湘南方面)を選びました。(学力もありましたが？)

免許取得時から、ドレスアップして(日本的に言うと改造車？)自分なりに車生活を楽しんでいます。学生の時は、わざわざアメリカのロサンゼルスに渡り、向こうの車文化に触れたこともありました。

少しだけ車歴を紹介しますと…

① 19歳～20歳

日産 ブルーバードバン 1979年式 (兄の友達の土建屋さんからの頂きもの)

② 20歳～21歳

日産 ダットサントラック 620 1980年式 (近所の車屋で15万で購入)

③ 21歳～23歳

ホンダ アコード 1985年式 (近所のディーラーで60万で購入)

④ 23歳～26歳

シボレー インパラ 1964年式 (アメリカから輸入)

⑤ 26歳～29歳

フォード リンカーンタウンカー 1992年式 (アメリカから輸入)

⑥ 29歳～35歳

メルセデスベンツ 1995年式 (近所の車屋で購入)

⑦ 35歳～42歳

トヨタ クラウン 1998年式 (父が病気のため譲り受ける)

⑧ 42歳～53歳(現在)

ポルシェ 911 2002年式 (近所の車屋で購入)

そんな私が最近(前から?)疑問に思ってることを少し話そうかと思います。

欧米では、古いクルマを楽しむ人々が沢山います。しかし、日本にはエコカー減税なるものの代わりに、自動車税が段階的に上がるシステム(13年を超えた車の自動車税と重量税を増税する重課制度が存在します)があります。

平成27年から始まった制度で、私たちは「物を大切にしなければいけない」と言われな

がら育ったはずです。ところが、古い自動車に重い税金を課して廃棄を促すという教えに逆行したものです。

古い自動車を増税して廃車に導く目的は、地球温暖化や大気汚染の防止と言われますが、これにも矛盾した部分があります。

その理由は、自動車は製造、流通、使用、廃棄などの全ての場面において、環境に負担を与えて、なおかつ二酸化炭素も排出するためです。したがって、13年を超えた自動車に重い税金を課して新車を買わせることが、必ずしもエコとは限らないのです。

私の今乗っている車も、その対象のド真ん中にあり疑問に思っています。

今の世の中、古い車に乗り続けることは、重課制度を除けば、それほど難しいことはありません。理由は、昨今の旧車・ネオクラシックカーブームにより、日本にも欧米のような古い車を大切にする文化が根付きつつあるためです。例えば、ブログやSNSなどのソーシャルメディアが普及し、旧車・ネオクラシックカーの価値観を分かち合う場が増えたことなどは、分かりやすい変化と言えるのではないのでしょうか。一つのパーツを買うにしても、日本では入手困難なものでも、ネットの個人輸入で安価に購入できる時代です。

アメリカではクラシックカーへの優遇処置を取っている州があると聞いたことがあります。日本も自動車大国であるならば、それぐらいの対策はあって然るべきだと思います。

百歩譲って、重課制度がやむを得ないとしても、20年を超えた車に敬意とまでは言わないが、少しばかりの免税もしくは何らかの良い処遇してほしいと思っています。

わが愛車のためにも・・・

令和5年8月 監事 霜越直樹